

所属・資格 社会学科・教授

申請者氏名 仲川 秀樹

研究課題		ポピュラーカルチャーにみる中心市街地再生の社会学的研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>地域に根差した伝統文化にあらたな文化を導入した地域再生研究である。地方都市山形県酒田市中心市街地を対象に、メディア文化的なスタイルを用い、ローカル百貨店のイベント効果を検証する。それが大人のみならず若者から子どもたちも関心を向け、中心市街地に人が集まる状況を形成することが大きな目的である。</p> <p>研究としては、ポピュラーカルチャーによるキャラクター効果など、現代的なトレンドがいかに地方都市にも影響を与えているのか、若者の関心がそれでどのように動くのかを中心に研究を進めた。</p>
	研究の結果	<p>研究結果としては、ポピュラーカルチャーのあらたな取り組みが、地方都市でも効果があることを、各種のイベントから検証を可能にした。酒田市4大まつりの一つを、ポピュラーカルチャースタイルによって企画し、そこに大人や子どもたちも一緒に楽しむ、中心市街地に人が集まる、そんなスタイルに変更したことがそれを証明している。</p> <p>中心市街地のシンボルであるローカル百貨店を拠点に、ポピュラーなイベントを開催することで、伝統的な内容を今日的にアレンジし、若者たちが、関心を示し、伝統文化を継承する機会としては、大きな収穫となった。メディア環境が乏しい地方都市でも、大都市的な楽しみを採り入れることで、積極的な地域再生へとつなげていくことが重要である。既存のスタイルを現代的にも意味のあることを示さなくてはならない。</p>
	研究の考察・反省	<p>地方都市の研究を継続し、時代の世相や風俗、トレンドなどが、地元の人びとに与える影響の大きいことも、研究する上で、重要である。大都市と地方都市のタイムラグ解消もより課題として継続すべき点である。そのためにも、時代の流れに沿いながら地方都市でも若者たちに関心があるテーマを掲げながら、積極的なまちづくりを進めることである。</p> <p>例年のことながら、地方都市の研究は、時間と経費などの負担が大きい。これをどのように解決するか。フィールドワークや実証的な研究をより効果的に進めるための基礎的な前提作業も急がねばならない。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p><研究発表> 日本教育福祉学会秋季研究例会 「地方都市中心市街地におけるローカル百貨店の役割—若者・子ども・高齢者の集まる文化的空間—」 2018年9月8日(土) マリーン5清水屋ミュージアムホール</p>	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p><研究成果物> 「コンパクトシティの意義とローカル百貨店の役割」 建築ジャーナル4月号 2019年4月発行予定 建築ジャーナル</p>	